



## ディベート実施の流れ（司会者用）

論題		
メンバー	肯定	
	否定	

### 司会者用原稿（例）

これから、\_\_\_\_\_についてのディベートを始めます。

- ・では早速、肯定側の立論をお願いします。制限時間は3分です。

\*時間を計る際はタイマーを使用すると思います。

\*制限時間は、時間を過ぎても多少は意見を述べる事はできますが、あまりにも長い場合は、司会者の裁量で止めるなどしてください。

- ・続いて、否定側の立論をお願いします。制限時間は3分です。
- ・次に、第一反駁です。第一反駁では、相手側の立論に対して反論をします。それでは、肯定側の第一反駁をお願いします。制限時間は2分です。
- ・次に、否定側の第一反駁です。制限時間は2分です。
- ・次に、第二反駁です。第二反駁では、相手側第一反駁に対して反論をします。それでは、否定側の第二反駁をお願いします。制限時間は2分です。
- ・次に、肯定側の第二反駁です。制限時間は2分です。
- ・続いて、相互討論に移ります。相互討論では、相手に対して自由に意見を述べたり反論をしたり、質問をしたりすることができます。肯定側、否定側の順に相互討論の時間があります。相手側の時間の時に、一言程度であれば、質問などに答えることができます。それでは、肯定側の相互討論を始めます。制限時間は1分です。
- ・次に、否定側の相互討論です。制限時間は1分です。
- ・それでは、これから要約に入ります。まず、1分間、要約をまとめる時間を設けます。

\*要約自体は、ディベートの間、いつでも書くことができます。ただ、相互討論の結果も踏まえる必要があるため、ここで1分間の要約をまとめる時間を設けます。

- ・（1分後）それでは、肯定側から要約を述べてください。制限時間は2分です。
- ・次に、否定側の要約を述べてください。制限時間は2分です。
- ・それでは、これより審判によるジャッジに入ります。これから1分間の審査時間に入ります。

\*審判は、この時間までにどちらが勝っているか決めてください。

- ・（1分後）それでは、肯定側の方が勝っていると思った方は手を挙げてください。
- ・それでは、否定側の方が勝っていると思った方は手を挙げてください。
- ・審判によるジャッジの結果、肯定側\_\_\_\_\_票、否定側\_\_\_\_\_票で肯定・否定側の勝ちとなりました。
- ・では、\_\_\_\_\_についてのディベートを終わりにします。

## ディベートの流れの図

